

## Comment

### **Usefulness of detection of clarithromycin-resistant *Helicobacter pylori* from fecal specimens for young adults treated with eradication therapy**

Helicobacter 22: e12396

---

便サンプルを用いることで内視鏡を行わずに *H.pylori* 感染診断を行って、さらに感染者の便で CAM 耐性も調べることは、中高生、若年成人を対象とした検診での運用に適している。

しかし、すべての便を遺伝子学的検討すると検診としては費用が掛かりすぎる。感度の良い便中抗原測定法で感染診断した後に、感染者の便を CAM 耐性遺伝子の検出に用いてその結果により除菌治療薬を選択するのがよいだろう。健診での運用にあたっては CAM 耐性遺伝子の検出を A2142C と A2143G に特化してより安い方法・費用で行うことも選択肢である。

(弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科 下山 克)

---